

予算常任委員会報告

10月18日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第5号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論はなく、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 65歳以上のインフルエンザ予防接種無償化事業の期間と免疫について問う。

答 接種期間は令和3年12月31日までとし、免疫が付くまでに約2週間程度、免疫効果は5か月位と一般的に言われている。それぞれの予防接種の接種間隔については、おおむね2週間を開けての接種を、住民の方にお知らせしている。

問 新型コロナウイルス感染症対策環境整備支援事業について問う。

答 町内に事業所を有する事業者(個人含む)を対象に、新型コロナウイルス感染症対策として購入した備品や消耗品、事業所や店舗などの環境整備事業に係る費用を補助する。補助対象経費の2分の1を補助額とし、上限は20万円とする。令和3年12月10日までを申請期間とし、書類審査後、交付時期は令和4年2月下旬を予定している。

11月9日 開催

委員長 平田 要

予算常任委員会に付託された「令和3年度能勢町一般会計補正予算(第6号)」について、委員会を開催し予算内容を審議しました。討論は無く、採決の結果、賛成多数で可決すべきものと決定しました。主な質疑応答は、次のとおりです。

問 太陽光パネルの出力26.4kWとあるが新庁舎屋根の部分でどの位の面積を占めるのか。

答 太陽光パネル58枚、4m×30mの面積で新庁舎中央付近から半分が太陽光パネルの設置場所と聞いている。

問 脱炭素化推進事業にかかる新庁舎PPAモデル導入事業の補助事業名について問う。

答 環境省の補助金メニュー名で「地域レジリエンス・脱炭素化を同時実現する避難施設等への自立・分散型エネルギー設備等導入推進事業」である。

※PPAモデルとは・・・「Power Purchase Agreement(電力販売契約)モデル」の略称で、発電業者が、需要家の敷地内に太陽光発電設備を発電事業者の費用により設置し、所有・維持管理をした上で、発電設備から発電された電気を需要家に供給する仕組みです。

問 設置費と労務費とのリース代総額で700万円(10年間)となっている。補助事業の上限が決まっているのかを問う。

答 経済性も考えたところの、パネルの設置枚数で事業費等計算がされている。

問 リース代の妥当性はどのように計算されているのかを問う。

答 町独自に国の資料に基づき設置費を算出した。保守代、電気代、保険代等を含めると約1,300万円程度が必要になるが、今回の補助事業を活用することによって町の負担額は700万円程度となり、電気代の削減でほぼ賄えるという費用対効果が見られるので、補助金の申請をした。

問 リース料支払先が、能勢・豊能まちづくり電力会社になっているが、保守管理業務ができるのかを問う。

答 設備の保守管理については、協力会社と契約を結ばれると考える。